

課題番号1

課題名	重点課題3 農業ビジネスを加速させる技術開発・普及・農地利用の促進 ICTを活用した北摂いちご産地の育成	
対象： 北摂いちご生産者12戸	計画期間：R1～3 事務所名：北部農と緑の総合事務所	
普及課題	活動方法	活動成果（達成率）
いちごにおけるICT確立	①リアルタイム栄養診断 ②ICTの情報提供	①基本技術の習得12戸(100%) ②リアルタイム栄養診断活用等による適正な肥培管理実施10戸(250%) ③ICT活用の基本的な方法と技術理解12戸(300%) ④北摂いちご生産者の会組織化8戸(100%)

総合評価（コメント）
<p>A：1名 B：5名 C：1名</p> <p>■都市化の進んだ北摂地域だけに、地域密着（地産地消）型のイチゴ産地の形成が注目される。消費者ニーズに即した産地形成、それを担う生産者の所得向上に向けて、最新かつ効果的な技術の活用・普及につとめてほしい。</p> <p>■収益目標は大切だと思うが、それを達成するブランド化、生産技術の平準化かトップを伸ばすのか、これらの目標と具体的な活動内容をどう結び付けるかを明確にされると良い。</p> <p>■改善目的、KGIを設定した方が良い。ゴール設定と年度毎のKPI設定が必要。課題と改善の定量的BEFORE/AFTERを設定するとともに、アクション計画の策定を行ってください。目標KPIの予実管理を行い、その行動に伴い出来た事、出来なかった事を明確化してください。</p> <p>■テーマ、着眼点は良いと思うが、課題と目標達成の間があいまいなので、もう少し具体的に「どのように」という計画が必要と思われる。「いちごの需要が多い」というのも根拠が欲しい。また販売金額の目標もこれを考慮すべき。それに基づいて販売の計画を立てないと、生産者同士で顧客を奪い合うことになる可能性もある。</p> <p>■北摂地域でイチゴ農家を目指す新規就農者にとって、魅力のある産地育成を実施するための方策として、ICT自体は有効であり、推進すべき事項。一方で、ブランド化に向けたハードルは低くないものと思われる、次のステップに向けては、個々の農家の更なる規模拡大・年収増も一つの課題。</p> <p>■課題設定はおおむね適切であるが、目標とそれを達成するための計画にやや工夫が必要ではないか。</p> <p>■農家にそった課題で導入機器の利用がうまくいくことを期待する。</p>

評価 A: おおむね適切である。 B: 部分的に検討が必要である。 C: 見直しが必要である。

普及指導計画への反映状況等
<p>■生産者ごとの経験や技術レベルに応じた単収の目標をKGIとして設定し、予実管理を実施していきます。</p> <p>■新規生産者が多いため、生産技術の高位平準化を重点的に取り組み、環境の数値化を進めICT機器の導入を図ります。</p> <p>■また、技術の平準化と併せて、北摂地域ならではの特性を生かしたコンセプトづくりを進め販売促進につなげます。</p>

KGI: 重要目標達成指標 KPI: 重要業績評価指標